

【大学間協定留学】留学報告書

記入日:2022年6月6日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California state University Fullerton
留学期間	2021年8月～2022年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年6月3日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬から12月下旬 2学期:1月下旬から5月下旬 3学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	30000～40000
創立年	1993

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	11244	1470153円	
宿舍費	5150	673363円	
食費	3400	444550円	寮のプランは複数あり
図書費		円	
学用品費	400	円	デジタルならもっと安い
携帯・インターネット費	150	19613円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2000	261500円	
被服費	250	30000円	
医療費		円	
保険費	2000	200000円	形態:
渡航旅費		200000円	
ピザ申請費	160	20927円	
雑費	700	78000円	
その他		円	
その他		円	
合計	25450	3328606円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田国際 目的地:ロサンゼルス国際 経由地: 復路 出発地:ロサンゼルス国際 目的地:成田国際 経由地:
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:ANA 料金:23000 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:ANA) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:hiu という別大学の寮) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
大学からの紹介
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
やめた方がいいと思います

現地情報

1)留学期間中, 病気やケガをしましたか。した場合, どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)
2)留学期間中, 学内外で問題はありましたか。あった場合, 誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:留学先大学の窓口)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し, どのような防犯対策をしましたか。また, 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
現地の人に危険な場所などは聞いておく/ 大使館からのメールなども重要な情報源
4)携帯電話や, インターネットについて, 現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので, 寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮のインターネットは不安定だが, 大学の方は使いやすい
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また, クレジットカードも併用していた。)
銀行口座は現地のもので日本からのものを両方使った。クレジットカード決済が主なので, 何種類かもっておくとい
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。
特になし。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
クレジットカード

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 未定 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to State and Local Politics	行政法
科目設置学部・研究科	Political science
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回
担当教授	Owen Holmes
授業内容	アメリカの行政システムや主要な法律などを州、地域行政などの単位別に学べる。
試験・課題など	ほとんど毎週、リーディングと要約の提出がある。また、合計 5 回 Political Cartoon を調べてレポートにまとめる。期末はレポート 2000-2500words
感想を自由記入	講義のスライドがわかりやすいのも良かったが、ゲストスピーカーが毎週のように来ていたので非常に面白かった。発言も要求されるが、50 人ほどの授業なので積極性が重要。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business and Its Legal Environment	商行為法
科目設置学部・研究科	Management
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Richard Perry
授業内容	主にビジネスに関連する法律、憲法について
試験・課題など	出席、発言と 3 回の試験、一回の quiz で評価される
感想を自由記入	内容としては非常に基本的なことしかテストで聞かれないので、そこまで難しくはないと思う。ただし、授業のアウトラインがあまりに膨大なので、そこはわかりにくかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Food and American history		アメリカの歴史と食文化	
科目設置学部・研究科	American study		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回		
担当教授	Elaine Lewinnek		
授業内容	アメリカの食文化を形成した歴史的背景や様々な問題との関連を考える。		
試験・課題など	毎週のリーディングの要約と中間レポート、期末レポート		
感想を自由記入	私たちのイメージする、アメリカの肥満やその他の諸問題について考える、非常に為になる授業だった。しかし、キャッチーな授業タイトルに反してかなり深いところまで扱い、そのためリーディングの量も多かったのが苦労した。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Religion and Violence		宗教と暴力	
科目設置学部・研究科	Religious study		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Bradley Starr		
授業内容	宗教が戦争などの暴力を引き起こしうる理由について、その共通点・相違点を主に学習する		
試験・課題など	試験 3 回		
感想を自由記入	内容としては非常に興味のある分野だったので、面白かったが、自分で何かを行う活動は全くなく、ただ講義を聴きただけなので、人によっては全く面白くないかもしれない。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
American Government		行政学	
科目設置学部・研究科	Political Science		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が2回		
担当教授	Rob Robinson		
授業内容	アメリカの行政システムの概要。主に憲法や議会、大統領制などを学ぶ。		
試験・課題など	3 回の試験と出席により評価。また、グループワークもあり		
感想を自由記入	試験が簡単すぎて、逆に試験前は不安になる。内容は政府や議院制の説明だが、日本の制度とはかなり違って面白。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Religion of the World		世界の宗教	
科目設置学部・研究科	Religious study		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	James D. Rietveld		
授業内容	世界の主要な宗教から、アメリカ原住民土着の信仰まで、幅広い分野の教義や歴史的背景を扱う。		
試験・課題など	中間と期末で 95%、計 5 枚の reflection paper で 5%		
感想を自由記入	教授の説明が明快で分かりやすかった。また、内容自体も今までの知識を一步先に薦め競るような内容だったため、とても興味をそそられた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Christianity		キリスト教学	
科目設置学部・研究科	Religious study		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Janet Bregar		
授業内容	キリスト教の歴史と教義や思想、習慣について		
試験・課題など	ペーパーのみ テストなし		
感想を自由記入	聖書の引用など、全員がある程度キリスト教に触れている前提の授業であったので、あまり理解できなかったように思う。授業も、ただビデオを見ているだけの日があったりと、かなり退屈だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Contemporary Practices of the world's Religions		世界の宗教(現代)	
科目設置学部・研究科	Religious study		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Benjamin J. Hubbard		
授業内容	世界の主要な宗教の教義について。また、中絶問題や安楽死、死刑と宗教的思想との関連など、政治と関連のある内容も学ぶ。		
試験・課題など	中間試験、期末レポート、授業全体の要約、出席		
感想を自由記入	所謂 5 大宗教とプラスいくつかの基本的な知識を学ぶのに適していると思う。各セッションで深い話まではいかないので、分かりやすかった。教授が今期で退職したので、次学期以降はないと思う。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
CFN
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
日本を出国する前から、就活の準備はしっかり進めていくことが必要です
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	英語の勉強を始める
	8月～9月	
	10月～12月	出願、TOEFL 受験
留学開始年	1月～3月	選考、確定、TOEIC 受験
	4月～7月	留学先大学への申し込み、ビザ申請
	8月～9月	出発、秋学期
	10月～12月	期末(12月)
留学/帰国年	1月～3月	春学期開始
	4月～7月	期末、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

正直なところ、この留学先を選んだのに、大きな理由はありません。まず、シンプルに GPA が低かったので、選べる大学が少なかったことに加え、もともと大学入学時には留学など欠片も考えていなかった私は、アメリカの大学に関する知識も持っていなかったので、気候の良いカリフォルニアの中で、大谷翔平選手のプレーするエンゼルスの本拠地が近いというだけでこの大学を選んだと言っても過言ではありません。そんな経緯で留学先で一年過ごした私ですが、終わってみれば非常に内容の濃い、充実した1年間だったと思います。学業の面では、日本の大学にはない課題の多さを、しかも英語でこなすということは想像以上に大変で、留学した頃の頃は毎日夜遅くまで図書館で勉強する日々でした。また、人とのコミュニケーションという点でも、やはり現地の文化や英語のスピードなどについていくのはとても厳しく、もどかしい日々を送っていました。それでも、日がたつにつれ、授業、遊びの双方で少しずつ改善がみられるようになり、特に留學生活の後半は多くの友人にも恵まれ、前半からは考えられないほど充実した日々を送ることができ、諦めずにやってきて本当に良かったと思いました。このように、実際の留學生活は自分の思い描いた通りにはなかなかいかず、楽しいことよりも大変なことの方が多くありますが、その両方を経験することこそ留學生活の醍醐味の一つであり、必ず自分の糧となると思うので、これから留学する方にも是非たくさんの経験をしてもらいたいです。

最後に、アドバイスとしては、準備の時間の重要性を伝えたいと思います。手続きなど、留学の準備は思った以上に時間も手間もかかります。時間をかけて準備を進めれば、手続き上のミスなども減り、出発前に余計なストレスをかけることなく精神的にも余裕をもって留学できるため、可能な限り早く動き始めることをお勧めします。また、これは語学の習得に関しても言えることで、学んでおけばそれだけスタートからうまくいく可能性も高まるので、しっかりと準備を整えて留学し、後悔の無い経験にさせていただきたいと思えます。